

学校長あいさつ

福山葦陽高校ホームページにアクセスしていただき、ありがとうございます。

本校は、明治39年4月、現在の福山城(当時は「鉄覆山朱雀院久松城」またの名を「葦陽城」と呼ばれていた)の西に町立福山女学校として創立されました。また、昭和43年には福山葦陽高校定時制(昼間2部制)が設置されました。高等女学校時代の貞淑温順の精神のもとに、今日のような男女共学の学校となり、真の健康、高い文化性、自主性・行動性の体得、健全な社会性を常に渾身の努力で切り開くことを「葦陽精神」として、脈々と受け継がれてきています。昭和57年に現在地に移転後には、校是「強く 正しく 美しく一人間的な成長めざして―」が定められ、生徒一人ひとりの進路実現に寄与し、地域や我国そして国際社会に貢献できる人材の育成に取り組んできました。

現在は、全日制課程普通科と昼間定時制課程を併設する学校であり、確かな学力と活発な部活動、そして豊かな人間性による質の高い文武両道を目指す学校として取組を進めています。さまざまな変遷と歴史を重ね本年は、創立115年目を迎えます。その間、様々な分野で活躍される約3万余名のすばらしい人材を輩出している歴史と伝統のある学校として歩んでいます。

自校の使命(ミッション)として「備後の伝統校として地域から愛され、新しい時代をたくましく生き、社会に貢献する人材を育成する」ことを掲げ、「変化の激しい社会をたくましく生きるための社会人基礎力を身に付けた生徒」を目指す生徒像とし、「前に踏み出す力」「考え抜く力」「チームで働く力」を付けるために取組を進めています。また、ハワイ州のワイパフ高校と姉妹校になっており、交流も盛んです。今年度については未定ですが、毎年6月の2週間ワイパフ高校から生徒が来校し、2月には本校からワイパフ高校へ行き、それぞれホームステイをしながら海外の生徒との交流を通して国際感覚を培っています。社会のグローバル化に対応できる生徒の育成を図り、福山葦陽高校のさらなる発展を目指し学校経営に取り組んでまいります。さらに、カリキュラムデザインとして、『タフ』と『グローバル』を柱に、あらゆる教育活動が主体的で対話的な深い学びとなり、「課題発見・解決学習」等を通して、教育の質の向上を図っていきます。

福山葦陽高校は、地域、保護者の皆様、そして歴代の同窓会の皆様をはじめとする関係者の皆様からの御支援と御協力を受けながら、備後地区の伝統校として、地域から愛され信頼される学校づくり、本校生徒が福山葦陽高校で学んでよかったと心から思える学校の実現のため、教職員一同全力で努力してまいります。本校に対して、皆様の一層の御理解と御支援を賜りますようお願い申し上げます。

令和2年4月

広島県立福山葦陽高等学校

校長 田玄 和司

